

ウインターカップ2021

令和3年度 第74回全国高等学校バスケットボール選手権大会 岡山県予選会

日時	2021年11月7日	12:00	男子	決勝
会場名	笠岡総合体育館			Mコート 第Ⅱ試合
○ 関西 74		$\left. \begin{array}{l} 15 - 15 \\ 13 - 22 \\ 25 - 18 \\ 21 - 17 \end{array} \right\}$		72 商大附属 ●

審判名	クルーチーフ	前花直哉					1stアンパイア	岸本祥也	2ndアンパイア			中村達哉	
選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
本田 雄貴	1	-					中村 晴 *	4	28	4	8		2
加納 圭翔	3	-					長谷川 竜玖	5	-				
落葉 良幸 *	5	12	2	3		1	佐々木 白斗 *	6	18		8	2	2
守安 大地	8	-					田中 太陽 (C) *	7	16	1	6	1	2
戸坂 透也 (C) *	9	26		10	6	3	大内 海渡 *	8	0				
齋藤 晴 *	13	12		5	2	1	十念 璃久 *	9	0				3
長津 圭亮 *	16	12	3	1	1	3	佐々木 翔	10	-				
多田 歩	20	-					佐賀 絆人	11	7	1	2		4
難波 良多	21	-					首藤 隆芽	12	-				
三島 瑞貴	23	-					山本 祐真	13	-				
山下 志希	32	-					田村 優二	14	-				
小田 智己	45	2		1			佐藤 颯	15	-				
歳原 悠矢	56	-					宮谷 浩司	16	-				
大山 竜生	69	-					岡安 玲夢	17	-				
相井 誠太 *	88	10		4	2	1	山岸 歩夢	18	3	1			2
合計		74	5	24	11	9	合計		72	7	24	3	15

戦評

1Q 両チームともマンツーマンでゲーム開始。開始早々両チームシュートを試みるがなかなか得点には繋がらない。攻撃力に定評のある両チームだがゲームが始まって2分以上フィールドゴールがなく重い立ち上がり。関西は⑬-⑨への合わせや⑤-④への合わせで得点を重ねる。果敢なドライブに対して商大附属のファウルを誘いフリースローを獲得するがそのフリースローも外れる。一方、商大附属は⑦を中心に得点を重ねていく。⑪の連続スティールや④のジャンプシュートで得点していく。両者なかなか得点を重ねることができずに1Qを関西15-15商大の同点で終える。

2Q 商大はセットオフenseから④のドライブで得点し、関西も負けじと⑤がジャンプシュートで得点し主導権を渡さない。ところが1分を過ぎたところで商大は粘り強くオフenseリバウンドを拾い、それを④⑪が3本連続3Pにつなげる。一気に9点差になったところで関西はタイムアウトをとる。タイムアウト後も商大はダブルチームで圧力をかけ、一気に流れを掴もうとする。それに対し、関西は⑨がドライブやフリースローで得点し、打開を試みる。すると残り3分で関西⑬のドライブからの連続得点で関西26-32商大と6点差まで点差を縮める。しかし、商大も⑦⑥が得点するなどし、関西28-37商大で前半を終了した。

3Q 関西ボールでスタート。関西は前半と同じメンバーで後半スタート。商大は⑪が新たに入り後半のゲームを開始。関西は⑨の1on1からのバスケットカウントや得点したり、リバウンドを取ってからゴール下をねじ込んだりし、関西#88のリバウンドで逆転に成功すると一気に攻勢に出る。前半は関西のペースでゲームは進み、商大はなかなかリズムに乗れず苦しい展開に。タイムアウト後にディフェンスで変化を持たせると商大⑥のスティール、⑩-⑥の合わせでテンポよく得点し始め終了間際④がリバウンドボールを自ら決めるなどし、関西46-48商大と商大がリードして終わる。

4Q 開始早々関西⑩の3Pでスコアを逆転する。すかさず商大も④のジャンプシュートで再逆転し、両チーム気持ちのこもった試合展開が続く。商大は⑪のドライブ、④の3Pで連続得点し、残り6分関西61-66商大とリードを奪う。しかし、関西も粘り強くディフェンスし、③の連続得点で試合時間残り4分で同点に持ち込む。両チームここから我慢の時間が続き、関西は厳しいチェックで商大のシュートミスを誘い、商大も身体を張って連続で相手からオフenseファウルをもぎとるなど、膠着状態が続く。残り1分で関西71-72商大になったところで関西がタイムアウトをとる。関西は⑩のドライブからディフェンスを崩し、⑨がそれに合わせバスケットカウントを沈め残り22秒でついに逆転に成功する。2点リードされた商大はタイムアウトをとり最後のオフenseに望みをつなぐ。商大は④や⑦が果敢にゴールを目指す。関西が最後まで身体を張ったディフェンスでゴールを切り切り、関西74-72商大附属で関西が悲願のウインターカップ初出場を決めた。

